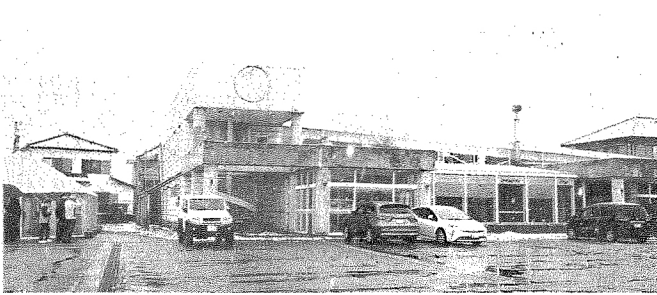


北日本製薬

品質管理センター増設

上市の元スーパード改築

北日本製薬(上市町若杉、西村一郎社長)は同町上経田に品質管理センターと研究棟を設ける。海外市場の開拓に向けて漢方薬の品質管理機能を強化するほか、有効成分の研究に取り組み。12月の完成を予定して



おり、投資金額は7億3500万円。

品質管理センターはスーパードだった建物(延べ床1061平方メートル)を改築して整備する。本社既存のセンター(106平方メートル)は

本社工場で生産した漢方薬の品質管理を担う一方、新しいセンターは国内の製造委託先や中国の工場で作った漢方薬の検査・品質管理を行う。

研究棟(659平方メートル)は、同センターの隣に建設する。新たな有効成分の研究をはじめ、配置薬を通じて長年蓄積してきた顧客ニーズの分析、中国の薬事行政への対応を担う。

3日に地鎮祭を行い、西品質管理センターに活用する上市町上経田の元スーパード

村社長は「品質を経営の最優先事項に掲げ、全社一丸となって取り組みたい」とあいさつした。中川行孝上市町長が祝辞を述べた。

県内新車登録 2月
2カ月連続増 2
県自動車販売協会と軽自動車検査協会富山事務所が発表した2月の県内新車登録・届け出台数(二輪車除く)は、前年同月比15・1%増の3637台と2カ月連続で増加した。認証不問題で滞っていた自動車生産の再開が寄与したとみ

られる。
登録自動車は15・4%増の21111台。内訳は乗用が18339台(13・5%増)、貨物が2177台(43・7%増)、バス・特殊が55台(3・5%減)だった。
軽自動車は14・7%増の15266台。内訳は乗用が1298台(16・1%増)、貨物が228台(7・5%増)。

建設業界向けITサービスの開発を手がけるコムテックス(高岡市東中川町、竹脇正貴社長)は、実務経験のある建設業界のOB人材を生かしたコンサルティングサービスの提供を始めた。住宅、建設業界で専門人材の確保が課題となる中、顧客の一層のコスト

コムテックス

削減や生産性向上を支援する。同社は、建築現場の業務をサポートするツールの開発を進めてきた。主力製品の一つ「Kizuku(キズク)」は、現場監督と作業者がチャットで情報共有し、工程管理もできる。住宅の新規着工棟数が減少傾向となっていることを受け、さらに収益性の

建設向けコンサル開始

顧客のコスト削減支援

改善が求められていることから、ITツールの提供だけでなく、コンサルとして顧客と関わることで、サービスの名称を「TUMUGU(ツムグ)」とした。

同社製品で建築現場のDXを進めてきた顧客事業所で、年齢的に退職となる人材が増えていることから、こうしたエキスパートの力を生かすことも狙った。顧客と本社担当者、エキスパート人材の3者で協議し、同社製品も活用しながら生産性向上を図る。

埼玉県の住宅メーカーで採用され、価格の適正化や仕入れ先の見直しに取り組み、住宅1棟当たり30万円のコスト削減を実現できたとしている。

需要

工場

町長「富山で働く契機に」

世界トップクラスの選手が愛用する大手スポーツ用品メーカーのヨネックスが、国内3カ所目の工場を立山町に建設することが決まった。交通アクセスの良さや自然環境に加え、バドミントンの競技熱が高いことも決め手となった。舟橋貴之町長は4日の記者会見で「世界に通じるブランドを持つ企業の進出。雇用創出だけでなく、町への誇りをももたらす」と期待した。

【本記1面】

幅に遅れたことから今回、ヨネックスの進出が決まった。富士製薬工業は、町内の他エリアでの整備を検討しているという。現地では既に産業用地の造成工事が進められている。